

2020 年度
歯学部
新入生アンケート結果

実施日時：2020 年 4 月 3 日（金）

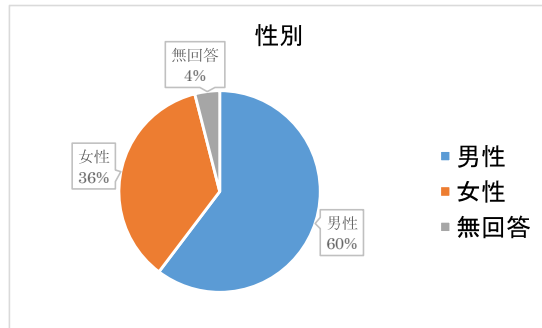
対象人数：2020 年度歯学部新入生 128 名

回収数（率）：126 名（98.4%）

1. 集計結果一覧

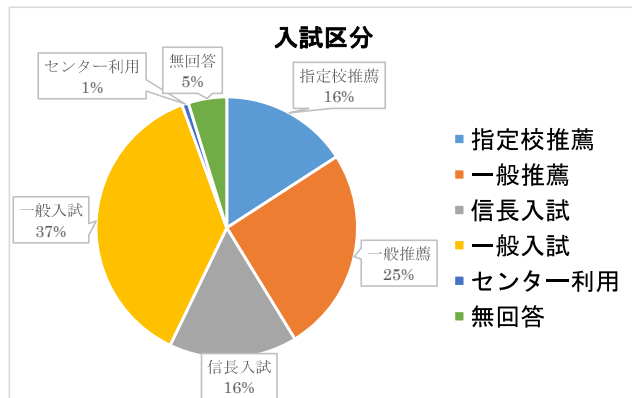
№1 性別

男性	女性	無回答	合計
76	45	5	126人
60.3%	35.7%	4.0%	100%



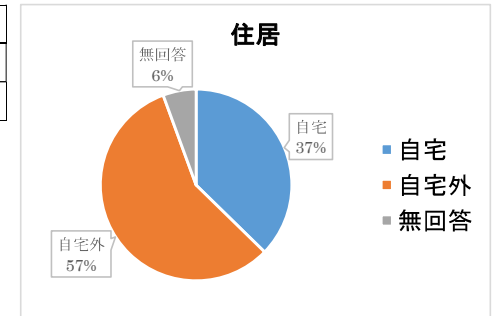
№2 入試区分

指定校推薦	一般推薦	信長入試	一般入試	センター利用	無回答	合計
20	32	20	47	1	6	126人
15.87%	25.4%	15.87%	37.3%	0.79%	4.76%	100%



№3 住居

自宅	自宅外	無回答	合計
47	72	7	126人
37.3%	57.1%	5.6%	100%

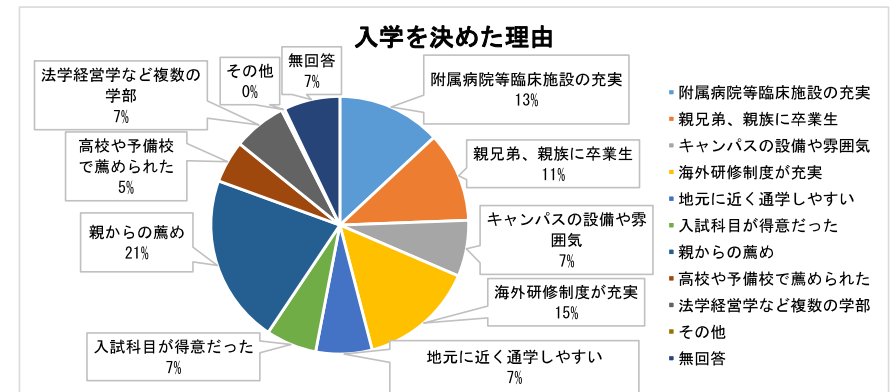


№4 朝日大学への入学を決めた理由は何ですか。(2つまで)

附属病院等臨 床施設の充実	親兄弟、親族 に卒業生	キャンパスの設 備や雰囲気	海外研修制度 が充実	地元近く通学 しやすい
37	32	20	41	20
24.18%	20.92%	13.07%	26.80%	13.07%

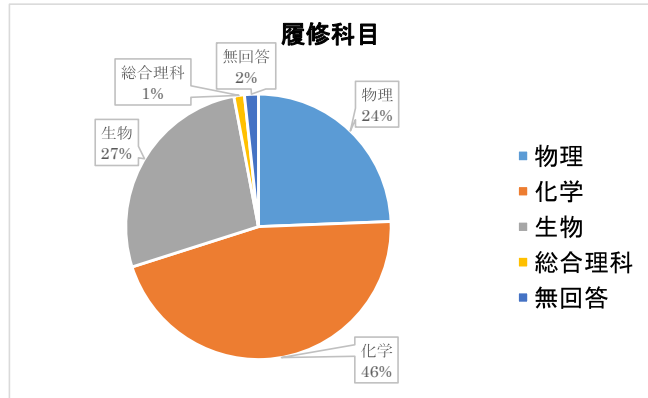
№5 朝日大学への入学を決めた理由は何ですか。(2つまで)

入試科目が自 分の得意科目 だった	親からの薦め	高校や予備校 で薦められた	法学経営学な ど複数の学部	その他	無回答	計
18	60	15	19	1	20	283
13.85%	46.15%	11.54%	14.62%	0.77%	7.0%	100%



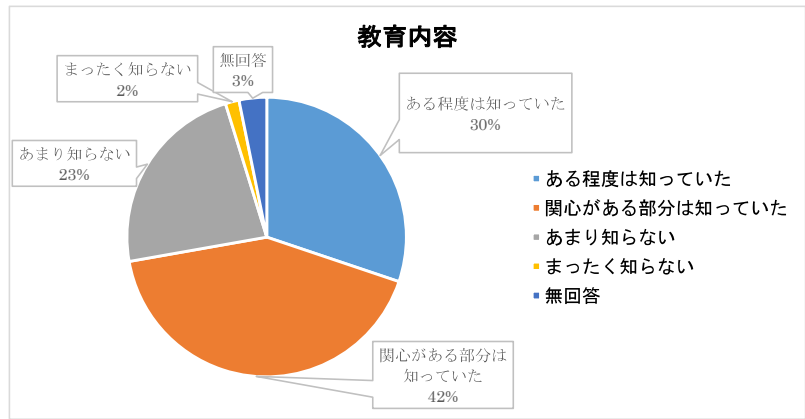
№6 高校で履修した理系科目は？複数回答可)

物理	化学	生物	総合理科	無回答	計
57	107	63	3	4	234
24.36%	45.73%	26.92%	1.28%	1.71%	100%



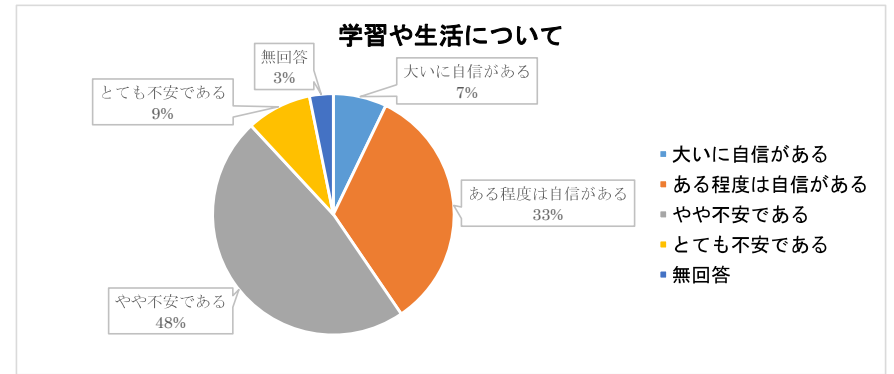
№7 入学前に本学歯学部の内容は知っていましたか？

ある程度は知っていた	関心がある部分は知っていた	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
38	53	29	2	4	126人
30.16%	42.06%	23.02%	1.59%	3.0%	100%



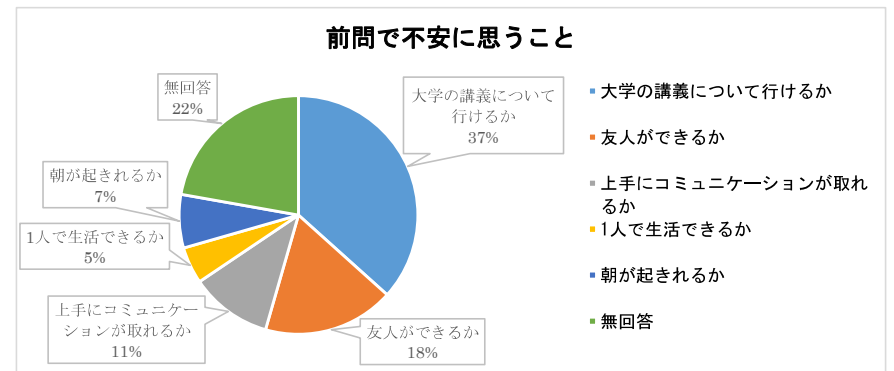
№8 本学での学習や生活についてどう思いますか？

大いに自信がある	ある程度は自信がある	やや不安である	とても不安である	無回答	計
9	42	60	11	4	126人
7.14%	33.33%	47.62%	8.73%	3.0%	100%



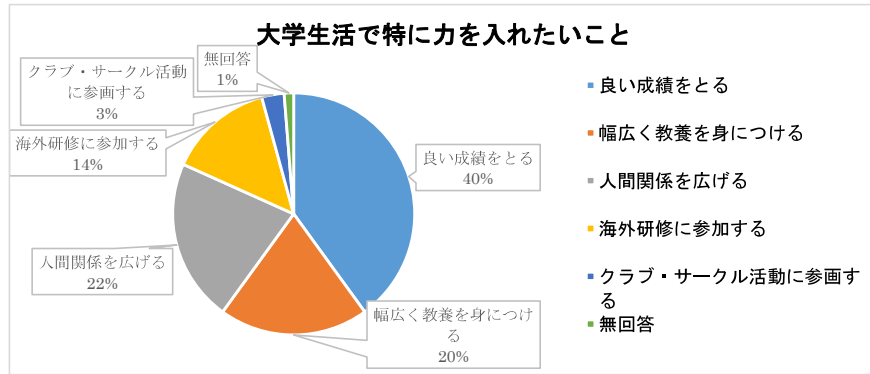
№9 前問で不安、やや不安と回答した方はどんな点が不安ですか？(複数回答あり)

大学の講義について行けるか	友人ができるか	上手にコミュニケーションが取れるか	1人で生活できるか	朝が起きれるか	無回答	合計
66	32	20	9	13	40	180
36.67%	17.78%	11.11%	5.0%	7.22%	22.22%	100%



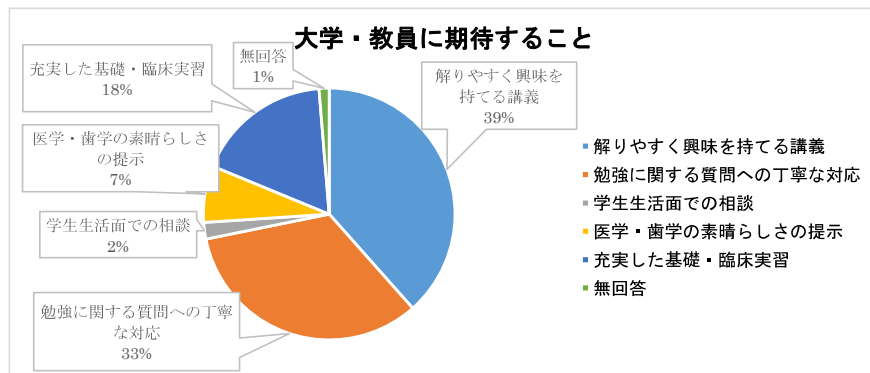
№10 大学生活で特に力を入れていきたいものは何ですか。(2つまで)

良い成績をとる	幅広く教養を身につける	人間関係を広げる	海外研修に参加する	クラブ・サークル活動に参加する	無回答	計
94	47	51	33	7	3	235
40.0%	20.0%	21.7%	14.04%	2.98%	1.28%	100%



№11 大学・教員に期待すること。(2つまで)

解りやすく興味を持てる講義	勉強に関する質問への丁寧な対応	学生生活面での相談	医学・歯学の素晴らしさの提示	充実した基礎・臨床実習	無回答	計
90	78	5	17	41	3	234
38.46%	33.33%	2.14%	7.26%	17.52%	1.28%	100%



№11 以上の問いのほかに、学生生活について感じていることや要望があれば、自由記述で答えてください。できれば理由も教えてください。

- ・ 大学が感染症の影響で自粛されることで友人が出来るか不安です。

【まとめ】

歯学部新入生の性別では例年どおり男子学生の比率が高い。これは、他の私立大学歯学部では女子学生の方が多い大学も存在するため、朝日大学歯学部生の特徴の1つと考えられる。新入生の入試区分では一般入試、次いで一般推薦が多く、指定校推薦と信長入試も同率(16%)であり、各入試区分が入学者の選抜にうまく機能していると考えられる。しかし、センター利用は1名にとどまることからほとんどの新入生は国公立大学を併願受験していないことがわかる。また新入生の住居が自宅外が半数以上である点は他府県からの入学が多いためであり、これらは朝日大学の創立以来変わらない傾向である。

朝日大学への入学を決めた理由も多様であるが、「親兄弟、親族に卒業生がいる」11%に対して「親からの薦め」が21%であるのは、親が歯科医師(開業医)である場合、本学の卒業生でなくても自分の子供に「朝日大学への入学」を勧めているケースが増えているためと考えられる。これはリーズナブルな授業料の設定の影響が一番大きいと考えられ、次いで教育面(教育体制・設備・環境)や海外研修制度が充実していることが如実に反映されている。これらの複合要因は今後も朝日大学歯学部が「選ばれる大学」として存続し続けるために歯科医師国家試験の合格率の向上とともにさらなる充実・発展が求められるであろう。

新入生が高校で履修した理系科目を見ると、ほとんどの新入生が「物理と化学」または「化学と生物」を履修しているが、公立高校では文系コースでも化学基礎、生物基礎、物理基礎などを履修するため、今後、理系コースまたは文系コースのいずれの課程を高校で履修したかをアンケート項目に含めていくべきと考えられる。実際に2年生以上の学生に接していると、高校時代は文系コースを履修していて、特に私立高校の文系コースではまったく理系三科目を履修しておらず、理系コースであっても「物理と化学」を選択している場合は「生物」はほとんど履修していなかった学生もいることが判明している。少子化に伴って歯学部入学生の選抜試験は昔よりもかなり「広き門」になったため、新入生の高校までの学習履歴は多様であり、このような多様な学生(ダイバーシティ)を受け入れる以上は1学年で歯科医師になるために必要な「化学」・「生物」・「物理」の教育をさらに充実させなければ、歯学部専門

系科目の授業についていけない学生が大幅に増えていくと予想される。実際、57%の新生が学習や生活について「やや不安である」、「とても不安である」と回答しており、具体的には「大学の講義についていけるか」に「やや不安である」、「とても不安である」と感じている学生が最も多い（37%）。しかし、大学生活で特に力を入れていきたいこととして「良い成績をとる」（40%）、「幅広く教養を身につける」（20%）と回答していることから、朝日大学での学修に対して60%の学生は意欲的・前向きである。新生の多くが教員に対して「解りやすく興味を持てる講義」（39%）や「勉強に関する質問への丁寧な対応」（33%）を期待しており、教員もそれに応えられるように「自己満足の授業」から脱却して歯科医師になるまで責任を持って教育することが朝日大学教員としての責務であろう